



深層水調べ

ー琵琶湖の不思議さにふれようー

活動のねらい

- 湖底付近の水を調べ、自然のもつ驚異や不思議さなどにふれ、自然への畏敬の念をもつ。また、琵琶湖や地域の水に興味・関心を深める。

【時 期】 6月～10月(水象・気象によります。)

【場 所】 3階甲板

【時 間】 採水1回約30分、2回約45分

【準備物】 ●角形水槽 ●温度計 ●「湖の子」水そう

主な活動の流れ

事前学習

- 琵琶湖の広さや深さを調べたり、また、南湖と北湖の広さや水深、貯水量などを比較したりする。

琵琶湖の表面と深いところの水の違いをさぐろう！

フローティングスクール

- 深層水と表層水の温度や透き通り具合の比較をする。
※温度調べと透き通り具合を調べる場合は、2回採水することになります。

①採水準備



②深層水採水



③温度調べ



③「湖の子」水調べ



事後学習

- 琵琶湖や地域の水と自分たちの生活との関連について調べ、琵琶湖や地域の水を守るために、生活の中で自分たちができていることを考え、実践する。

参考資料

琵琶湖の水は、春から秋までは、温かい表層水と冷たい深層水とが成層して、上下の混合が起こらなくなります。このため、深層水は表層水とは全く異なった状態になります。

8月を過ぎると、湖面から冷却が始まります。湖面で冷えた水は、密度が大きくなって下層へ沈むので対流が起こります。そして、1月～3月には、水温が湖面から湖底までほぼ同じになり、6～7℃程度になります。この時期は、対流が湖底まで達し循環期と呼んでいます。

琵琶湖と自然 四訂版より

